

11月19日は「世界トイレの日」

世界のトイレの衛生課題について、一緒に考えませんか？

世界では現在、**約36億人（2人に1人）**が安全に管理された衛生設備（トイレ）を使えない現実があります。安全ではない水や不衛生な環境が原因で発症する下痢性疾患により、**1日に700人以上**もの5歳未満の子どもたちが命を落としています。

LIXILは「優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献」する企業として、この世界的な問題に取り組んでいます。

<世界の衛生課題について*>

日常的に屋外で排泄をしている人

約4.9億人

家庭で基本的な手洗い設備を利用できない人

約23億人

安全に管理された衛生設備（トイレ）などを利用できない人

約36億人

不衛生な水や劣悪な衛生環境による下痢性疾患で命を落とす5歳未満の子ども

1日700人以上

*2021年7月時点

目標
6

安全な水とトイレ
を世界中に

SDGs目標6「安全な水とトイレを世界中に」は進捗が遅れており、達成には今の4倍の速さで取り組むことが求められています。目標6には、安全な飲み水のアクセスだけでなく、「衛生課題」という重要な課題も含まれています。

LIXILは「みんなにキレイをプロジェクト」を通じて、世界の衛生環境の改善に貢献しています。



みんなにキレイを
プロジェクト



世界中にトイレと手洗いを

公式HPは
こちら>>

